令和８年度　家庭科　第3学年　年間指導計画・評価規準・評価方法

目　標	・幼児の心身の発達について理解する。 ・幼児の生活習慣について理解するし、適した触れ合い方を考えられる。 ・幼児に適したおもちゃの制作ができる。 ・幼児に適した食事、間食の調理ができる。 ・高齢者など地域の人々との協働、高齢者との関わり方を知ることができる。 ・商品の選択と購入について理解する。 ・環境に配慮した消費生活を実践できる。

学期	月	単元		時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	4	A家族・家庭生活	2幼児の生活と家族	3	○幼児期への関心をもつ。 ○幼児の身体の発育について，発達の方向性や順序性とともに，個人差があることを理解する。 ○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。 ○自分の実践的・体験的な活動を通して，幼児にとっての遊びの意義を理解する。 ○幼児にとって遊びは生活そのものであり，十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。	○幼児の身体の発達の特徴について理解している。 ○幼児の心の発達の特徴について理解している。 ○子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ○幼児にとっての遊びの意義について理解している。	○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ○幼児との関わりについて解決策を構想している。 ○幼児との関わりについて解決策を構想し，考察したことを論理的に表現している。	○幼児との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ○幼児との関わり方について，課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ○よりよい生活のために，幼児との関わり方について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	5							
	6			5	<実習> おもちゃを作ってみよう ○幼児の生活習慣の習得について考えよう 基本的生活習慣の習得 社会的生活習慣の習得 生活習慣の習得を支える家族 ○幼児の生活と遊びを知ろう 幼児の１日 幼児の生活と食事 幼児の生活と遊び 遊び方の変化と遊びで育つ力 遊びを豊かにする物 幼児の遊び場所と安全 ○幼児のおやつ　（調理実習）	○幼児の生活に役立つものを計画を立てて製作することができる。 ○幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりなどについて、観点に基づいて観察し、整理し発表することができる。 ○幼児の成長に適した遊びや道具の観察をまとめ発表することができる。 ○幼児のおやつを考え順序良く、効率的に調理できる。	○幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫している。 ○幼児の成長に適した遊びを考え工夫している。	○幼児の発達段階に応じた簡単なおもちゃの製作を通して、幼児の遊びに関心をもっている。 ○幼児の生活習慣がどのように身についていくのか考えようとしている。 ○幼児の生活習慣の習得を支える家族の役割を考えようとしている。 ○幼児の１日の生活を振り返り、幼児にとっての遊びの意義について考えようとしている。 ○幼児のいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考えようとしている。 ○幼児の遊びを豊かにする遊び道具と、遊ぶ環境について考えようとしている。 ○幼児の体の特徴を理解し適したおやつを考えようとしている。
	7							
	9							
	10		3幼児とのふれ合い	1	○幼児と触れ合おう ＜保育体験＞ ○幼児との関わり方についてまとめよう。	○交流したレポートをまとめ発表することができる。	○幼児との遊びを通して幼児の発達に応じた関わり方を工夫している。 ○幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを生かして自分なりに考え工夫している。 ○幼児との触れ合い体験を通して学んだ幼児の特徴をまとめようと工夫している。	○幼児と触れ合う活動を通して、幼児に関心をもち、安全に配慮しながら積極的に関わろうとしている。
2学期	11		2家庭生活と地域のかかわり	1	○家庭生活は，地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ○地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ○地域で活動する高齢者や，見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。 ○地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。	○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 ○高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。 ○介護など高齢者との関わり方について理解している。	○地域の人びとと関わり，協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。 ○高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想している。 ○高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	○家族や地域の人びとと協働し，よりよい生活の実現に向けて，家族・家庭や地域との関わりについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
			3持続可能な家庭生活	2	○誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして，課題をみつけ，実践的に取り組む。		○社会や環境に配慮した家庭・保育・地域などの生活について問題を見いだして課題を設定している。 ○社会や環境に配慮した生活について考え，工夫している。	○持続可能な社会を目指して，家庭・保育・地域などについて，工夫し創造し，実践しようとしている。 ○自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。
	12							
3学期	1	c消費生活	2購入・支払いと生活情報	2	○即時払い，前払い，後払いの特徴を理解し，利点と問題点を理解する。 ○生活情報の収集や活用のしかたを理解し，目的に合った商品を選ぶことができる。	○物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	○物資・サービスの購入について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	
	2		3消費者の自立と消費者被害	2	○消費者被害の現状や背景について理解し，予防の方法がわかる。 ○消費者を支えるしくみについて理解できる。 ○消費者の権利と責任について理解し，自立した消費者をめざす。	○消費者被害の背景とその対応について理解している。 ○消費者被害の背景とその対応について理解している。 ○消費者の基本的な権利と責任について理解している。	○自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ○自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	○消費者被害の対応について，課題の解決に主体的に取り組み，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 ○よりよい生活の実現に向けて，消費者の権利と責任について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	3		持続可能な社会	1.5	○幼児の身体の発達の特徴について理解している。 ○幼児の心の発達の特徴について理解している。 ○子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ○幼児にとっての遊びの意義について理解している。	○自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	○自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	○よりよい生活の実現に向けて，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	総時数			17.5	評価材料	定期考査、作品 レポート	定期考査、振り返りシート、作品 レポート	ワークシート、授業観察 レポート、振り返りシート